令和６年度　教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	18	学校名	岐阜工業高等学校　定時制

<table>
<tr><td>学校教育目標
（教育方針）</td><td colspan="2">1　基礎・基本の定着と「生きる力」の育成
生徒一人一人の実態をとらえ、基礎・基本の内容を確実に身に付けた人材の育成
2　基本的生活習慣の確立
勤労と学習の両立をはかり、基本的生活習慣を身に付けた人材の育成
3　工業技術科の活性化と進路支援活動の充実
ものづくりへの興味・関心を深化させ、多種多様な資格に対して積極的にチャレンジする学習意欲を持った人材の育成</td></tr>
<tr><td rowspan="3">３つの方針
(ｽｸｰﾙ･ﾎﾟﾘｼｰ)</td><td>どんな生徒を
育てたいか
【ＧＰ】</td><td>・　基礎・基本の内容を確実に身に付けた生徒
・　学習と勤労の両立を図り、礼儀正しく基本的生活習慣を確実に身に付けた生徒
・　豊かな人間性や自ら学び自ら考える力など「生きる力」を持った生徒</td></tr>
<tr><td>生徒をどう
育てるか
【ＣＰ】</td><td>・　ものづくりへの興味・関心を深め、様々な資格取得に対し積極的に挑戦する学習姿勢を持った人材の育成
・　自ら進んで文化やスポーツに親しみ、心身の健康を保持増進するとともに、人間性・社会性が育まれるような特別活動の指導
・　自ら学び自ら考える力の育成に努め、主体的に問題解決する能力が身に付くよう体験的・問題解決的な学習活動の充実</td></tr>
<tr><td>どんな生徒を
待っているか
【ＡＰ】</td><td>・　働きながら学ぶ姿勢があり、学校生活を真面目に送り、ねばり強く努力できる生徒
・　部活動、生徒会活動, 学校行事等に積極的に参加できる生徒
・　工業の課程やものづくりに対して興味・関心がある生徒</td></tr>
<tr><td>学校の抱える課題</td><td colspan="2">・　小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒への支援の在り方
・　ひとり親家庭の増加に伴う保護者との意思疎通方法
・　特別な支援を必要とする生徒への支援の在り方
・　学力不振生徒に対しての学習支援の在り方
・　中学卒業者の減少、高校進学多様化に伴う定時制課程希望者の減少</td></tr>
<tr><td rowspan="5">教育指導の重点</td><td>領域・分野</td><td>今　年　度　の　具　体　的　な　重　点　目　標</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>基礎・基本を重視した着実な学力の定着と、主体的な学習態度の醸成</td></tr>
<tr><td>生徒指導</td><td>生徒一人一人の特性を認め合い、自己表現力の向上を図り、自己肯定感や自己有用感が持てる支援の充実</td></tr>
<tr><td>進路指導</td><td>自らを省みて理解し、進路実現に向かって主体的に選択、決定ができる能力の醸成</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>安全教育の徹底を図り、ものづくりを通して「ひとづくり」の考えのもと、学ぶ姿勢を培い充実感と達成感を育てる</td></tr>
</table>

年　度　目　標					年　度　末　評　価（自　己　評　価）			
領域 分野	３つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画 での位置付け		達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合 評価 A.B.C.D
学習指導	生徒の実態に即したきめ細やかな支援の充実	21	施策Ⅳ-21	授業アンケート等による生徒の理解力の評価				
	学力が到達目標に届かない生徒への学習支援の充実	23	施策Ⅳ-23	授業時における、基礎・基本の定着度の確認				
	教材の工夫、ＩＣＴ機器の活用、実物教材等の活用を行い、生徒の達成感が得られる授業スタイルの推進	8	施策Ⅱ-8	授業見学等において教職員間の情報共有と実践				
	生徒の学習ニーズに応じた多様な学びに応えるための支援体制の充実	23	施策Ⅳ-23	職員間の様々な場面においての情報共有体制の確立				
生徒指導	授業規律の遵守、生活リズムの確立の支援と家庭と学校との連携	7	施策Ⅰ-7	保護者アンケート等による学校支援の評価				
	生徒への安全教育（交通安全・情報モラル）の充実	19	施策Ⅲ-19	交通事故生徒の減少、情報モラル等の問題行動の減少				
	生徒のわずかな変化をとらえ、信頼と愛情に基づく共感的理解に徹し、生き抜く姿勢・態度の育成	3	施策Ⅰ-3	こころのアンケート、いじめ・迷惑調査、面談情報の共有が教員間でできているか				
	様々な犯罪をはじめ、複雑化するトラブルに対応するための、啓発教育の実施	7	施策Ⅰ-7	各種講話を通じた啓発活動の実施状況				
進路指導	本人の希望、適性、能力に応じた進路支援の強化と、望ましい勤労観・職業観の育成	13	施策Ⅱ-13	卒業時の進路内定率の向上				
	各種検査を通じた、生徒自身による自らの特性の理解と、職員による生徒個々に応じたきめ細やかな進路指導の実施	23	施策Ⅳ-23	検査結果の職員間の情報共有とその活用				
	地域産業に貢献できる人材の育成の観点から、外部人材活用等を活かした進路支援の充実	14	施策Ⅱ-14	外部講師の招聘と生徒アンケート等における評価				
	職員が進路支援の場を多く持ち、本人の希望、資質、家庭事情を考慮しながらの支援体制の充実	7	施策Ⅰ-7	就職した企業における訪問等を通じて定着率の調査				
その他	少人数実習を行い、安全教育の徹底を図ることによる、事故防止の徹底	19	施策Ⅲ-19	実習時における基礎･基本の定着度と安全作業の徹底、実習時事故の減少				
	「ものづくり」教育推進のもと、資格取得支援においての教職員の学びの文化の醸成、補習等の協働的な環境つくりの推進	26	施策Ⅳ-26	各種資格・検定等の受検者の増加と合格率の向上				
	「ものづくり」から「ひとづくり」という考えのもと、全ての生徒が学ぶ姿勢から充実感と達成感を体験	23	施策Ⅳ-23	実習報告書の内容と自己評価の向上度の比較				
	将来の産業を担う人材の育成という観点から、地域産業の振興を目的とした教育支援の充実	14	施策Ⅱ-14	地元企業就職率の上昇と地元企業の求人数の上昇				

来年度に向けての改善方策等

学校関係者評価

実施日：令和７年　月　　日